

◆-----◆
GET 流域水循環レクチャーシリーズ（第4回）開催のご案内

『流域水循環講習会および水循環モデリング講習会・演習』

2019年6月26、27、28日開催
◆-----◆

1. 講習会の内容

本講習は、水問題に関わる様々な動向、最新情報、行政的・科学的視点、流域モデリング&シミュレーション技術などをご紹介するために、年1~2回程度開催をさせていただきます。

近年は、気候変動などに伴う水問題の深刻化が世界的に懸念されており、それに対処するための取組みが、国際機関や各国政府、自治体、企業等で進められています。水問題（水資源確保、水・土砂災害の低減、水環境の保全など）の対策を講じる上では、流域を基本とする自然・人工物・人間活動の情報収集・調査・分析、物理的モデリング・シミュレーション結果などを総合的に組合せ、流域の実態を科学的に理解していくことが必要です。

本講習では、水問題に関わる行政の方、企業等のエンジニアの方、自然科学・工学・社会科学の研究者・学生の方などを対象に、水問題の様々な側面や情報、科学的基礎知識から実際のモデリングまでを集中的に学べるように構成をいたしました。

以下の全体スケジュールや詳細内容をご覧ください、ご参加頂けますと幸いです。なお、本レクチャーは、公益社団法人地盤工学会にCPD認定申請予定です。

日時	テーマ・概要
2019年6月26日（水） 10時00分～16時00分	<u>流域水循環講習会</u> 流域水循環と水問題、行政・企業の取組みの動向、水循環の場としての自然環境のモデル化、世界の水循環モデリングの最新情報、GETFLOWSの最新開発状況・適用事例などをご紹介します。 また、講習会後に情報交換会（16時20分～17時30分）を行いますので、ぜひご参加ください。
2019年6月27日（木） 10時00分～17時00分	<u>水循環モデリング講習会・基礎演習</u> 水循環シミュレーションの基礎理論から、類似するモデリング・シミュレーションツールの特徴・違いなどをご紹介します。 また、準備されたデータを使い、水循環シミュレーションの入力データ準備、実行、可視化までを一気通貫で理解することができます。
2019年6月28日（金） 10時00分～17時00分	<u>GETFLOWSによる水循環モデリング応用演習</u> GETFLOWSによる水循環モデリングの前処理（モデル構築方法、入力データ作成）や後処理（可視化、分析）の詳細、それらの一部のノウハウをご紹介します。

流域水循環講習会

概要

流域水循環に関連した近年の水問題、国・自治体・企業等の取組みの動向、流域マネジメントに資する水循環モデルの利用事例、世界の水循環モデリングの最新情報、GETFLOWSの最新開発状況・適用事例などをご紹介します。

開催日

2019年6月26日(水) 10時00分～16時00分(情報交換会:16時20分～17時30分)

プログラム

- 10:00～11:00 流域水循環と水問題への取組み
- ・ わが国・自治体の水問題への取組みの動向
 - ・ 企業の水リスクへの取組みの動向
 - ・ SDGs、CDP ウォータープログラム、BCP 等への取組み
 - ・ 流域水循環保全における「水収支管理」の視点
 - ・ 地盤沈下地域での揚水規制後の地下水の推移と管理の方向性
 - ・ 豪雨による地盤災害への水理解析によるアプローチ
 - ・ 水循環(地下水)情報の広報と可視化、など
- 11:00～12:00 水循環の場としての自然環境のモデル化
- ・ 自然環境が規制する水循環⇔水循環が作る自然環境
 - ・ 見える地形と見えない地質
 - ・ 水循環の実態に迫るための道具としてのシミュレーションの利用
 - ・ 複雑な自然をモデル化するためのポイント
 - ・ 流域水循環の中に人間の活動を置いてみる
- 13:00～14:45 流域水循環の動態を知る
- ・ 近年の水循環変動と水問題について
 - ・ 流域水循環(降水・蒸発散・表流水・地下水)の現象論
 - ・ 流域水循環のモデル化と見える化
 - ・ 流域の水インフラ設計への適用
- 15:00～16:00 世界の最新情報・GETFLOWS 開発状況・適用事例
- ・ 世界の水循環モデリングの最新動向
 - ・ GETFLOWS の最新開発状況、適用事例
- 16:20～17:30 情報交換会
- ※講習会会場にて行います。是非ご参加ください。

※当日の内容は多少変更することがございますのでご承知おきください

配布資料

- ・ 講習会資料一式

◆=====◆ 水循環モデリング講習会・基礎演習 ◆=====◆

概要

水循環シミュレーションの基礎理論から、類似するモデリング・シミュレーションツールの特徴・違い、手順などをご紹介します。

また、皆様の持参されるラップトップ PC 上に GETFLOWS 体験版および周辺ソフトウェア一式をインストールして頂き、準備されたデータを使い、GETFLOWS による水循環シミュレーションの入力データ準備、実行、可視化までを一気通貫で理解することができます。

開催日

2019年6月27日（木）10時00分～17時00分

受講対象者

- 水循環シミュレーションの基礎理論を学びたい方
- 河川シミュレーションや地下水シミュレーションに関連する技術者
- GETFLOWS を基礎から学びたい方

習得知識

- 水循環シミュレーションの基礎理論
- 類似モデリング・シミュレーションツールの特徴・違い
- GETFLOWS の入力データ準備、実行、可視化の流れ

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 10:00～11:15 | 流域水循環の基礎数理 <ul style="list-style-type: none">• 流域水循環の基礎理論• 数値解析手法に関する基礎知識• 表流水・地下水の流れと水理パラメータ• 流域モデル作成の注意点（境界条件、初期条件、他） |
| 11:15～12:00 | PC 環境確認および基本操作説明 <ul style="list-style-type: none">• PC 環境の確認• 基本操作の説明（GETFLOWS、図化ソフトの基本操作） |
| 13:00～14:00 | 水循環モデリング・シミュレーションツールの説明 <ul style="list-style-type: none">• 類似ツールの特徴・違い・手順 |
| 14:00～15:00 | GETFLOWS を用いた基礎演習 <ul style="list-style-type: none">• 水循環モデリングの流れ• 入力データの説明・編集 |
| 15:15～17:00 | GETFLOWS を用いた基礎演習（続き） <ul style="list-style-type: none">• 計算実行• 解析結果の可視化 |

※当日の内容は多少変更することがございますのでご承知おきください。

配布資料

- 講習会資料一式
- 演習用データ一式
- GETFLOWS 使用期間限定版
- GETFLOWS 理論ガイドβ版
- GETFLOWS 入力マニュアル

◆=====◆ GETFLOWSによる水循環モデリング応用演習 ◆=====◆

概要

GETFLOWSによる水循環シミュレーションの前処理(モデル構築方法、入力データ作成)や、後処理(可視化、分析)の詳細、それらの一部のノウハウをご紹介します。

演習では、ラップトップPC上で、格子作成からパラメータの割り当て方法、三次元化、入力データの作成、解析実行、データチェック、各種出力処理、分析を行います。PCの設定方法については事前にご連絡し、準備をして頂きます。

開催日

2019年6月28日(金) 10時00分～17時00分

受講対象者

- GETFLOWS ユーザーの方
- 今後、GETFLOWS を利用して業務・研究を実施予定の方

習得知識

- GETFLOWS による水循環モデリングの前処理(データ収集、モデル構築方法)
- GETFLOWS の実行方法とデータ確認方法
- GETFLOWS による水循環モデリングの後処理(可視化・分析)

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 10:00～10:30 | PC 環境確認と基本説明 <ul style="list-style-type: none">• GETFLOWS および GIS・図化ソフトの動作確認• 水循環シミュレーションの詳細手順 |
| 10:30～12:00 | 基本的なモデル構築の演習 <ul style="list-style-type: none">• 領域設定の考え方• データ収集・整理方法• 平面格子作成• データ割り当て• 三次元化 |
| 13:00～14:00 | 入力データ作成の演習 <ul style="list-style-type: none">• 入出力ファイルの構成• 入力ファイル作成方法(流体物性、地盤物性、降雨、蒸発散等)• 境界条件の設定方法 |
| 14:00～14:30 | GETFLOWS による計算実行 <ul style="list-style-type: none">• 計算実行• データ確認 |
| 14:45～17:00 | 解析結果の可視化・分析の演習 <ul style="list-style-type: none">• 河川流量、地下水位の取得方法• 水循環マップの作成方法 |

- ・ シミュレーション結果確認・分析の着眼点

※実際の内容は多少変更することがございますのでご承知おきください。

配布資料

- 講習会資料一式
- 演習用データ一式
- GETFLOWS 使用期間限定版
- GETFLOWS 理論ガイドβ版
- GETFLOWS 入力マニュアル

2. 会場

アーバンネット神田カンファレンス

〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-6-2 アーバンネット神田ビル 2 階

Tel: 03-3526-6800 / FAX: 03-3526-6801

URL : <http://kanda-c.jp/>



※ビル正面自動ドアを入りすぐ左の専用エレベーターをご利用下さい。

【各駅から「神田駅」までのおおよその所要時間】



神田駅

JR 山手線	直通 2分	東京駅		
JR 山手線	直通 2分	秋葉原駅		
JR 山手線	直通 8分	浜松町駅		
JR 山手線	直通 13分	品川駅		
JR 中央線	直通 2分	御茶ノ水駅		
JR 中央線快速	直通 11分	新宿駅		
東京モノレール JR 山手線	31分	羽田空港国際線 ターミナル駅	3分	羽田空港国内線 ターミナル駅

3. 受講料および定員

	2019/6/26 (水) 流域水循環講習会	2019/6/27 (木) 水循環モデリング 講習会・基礎演習	2019/6/28 (金) GETFLOWS による 水循環デリング応用演習
GETFLOWS ユーザー	2 万円	3 万円	6 万円
大学職員・ 学生の方	2 万円	3 万円	6 万円
上記以外の 一般の方	3 万円	5 万円	10 万円
定員	40 名程度	20 名程度	10 名程度

※1～3 日間で自由に選択してご参加頂けます。

4. 参加申し込み要領

下記の必要事項を、GET レクチャー事務局 (lecture@getc.co.jp) 宛までメールでお申込みください。申込みを受け付けた方に請求書をお送りさせていただきます。開催日までに会費をお振込み下さい。

- 1) 氏名 (当日変更があっても構いません)
- 2) 所属名
- 3) 住所
- 4) 電話番号
- 5) メールアドレス
- 6) 参加日 (1～3 日を任意に選択してください)
- 7) 請求書に記載する請求先の名称 (会社名や部署名等請求書に記載する請求先の名称)

GET レクチャー事務局 (佐分利、大塚、馬場)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-1 NCO 神田淡路町 3 階

TEL: 03-5297-3811 / FAX: 03-5297-3813

E-mail: lecture@getc.co.jp

※本参加申込にてご記入いただいた個人情報は、弊社セミナー・レクチャーの運営、管理、資料送付等を目的として収集するものであり、その他の目的に使用したり、第三者に提供・開示いたしません。